

鳥取市役所 職員 保木本 淳さん



2児(8歳と1歳)の父として、育児に熱心に取り組んでいる働く男性のロールモデルである保木本さん。ライフセービング活動や、最近では小学校の読み聞かせボランティアなどもしておられます。育児休暇取得は元々夫婦の約束だったそうですが、積極的に楽しみながら保木本さんならではの子育てをしておられます。

Q.育児休暇をとることへの周囲の反応はhowでしたか？

第二子を望むにあたり、元々妻とは約束していました。両親などは、直前まで半信半疑で、男性が育児休暇を取ることに不思議な感覚があったみたいです。「自己研さんも兼ねた1年間の『育自研修』期間です」って伝えました。

Q.育児休暇中の生活の様子を教えてください。

朝5時に起きて夏休み中の長男の勉強を済ませ、毎日子ども達と海に出かけて水遊びや砂遊び。「海で子育て」が夢だったので、自然の中での子育てを存分に楽しんでいます。昼は簡単なおむすび弁当を食べて帰る。ヘトヘトになるまで遊んだ子ども達はお昼寝です。その間に夕食の準備などの家事。3時くらいに昼寝が終わるので長男の勉強のサポートや散歩。夜8時には子ども達が寝るので、そこが自分の時間ですが、一緒に寝ちゃったりもしますね。



Q.育児休暇を取得したメリット・デメリットは？

何気ない成長の瞬間が見られた時は、すごく幸せだと感じます。次男が歩き始めた瞬間などは、勤務していたらおそらく見逃していたでしょうね。子ども達の成長にしっかり寄り添ってられる時間は本当に充実しています。もちろん煮詰まることもありますよ。子育て中の女性がノイローゼになるというのも実体験としてよく分かりますね。デメリットはほとんど感じません。復職後への不安もありますが、活動範囲が広がり、子どもや子育てを取り巻く社会の状況にもますます関心が高まっていることは、今後の業務に役立てられるのではないかと感じています。

Q.男性の育児における課題は？

男性が育児について気軽に話せる場がないことですかね。県外から来られた男性が育児休暇をとって、社会とのつながりが無くなったりすると辛いだろうなという気がします。そういうサークルや活動の場があれば、煮詰まった時なんかにはすごくいい。あと、最近は気にならなくなりましたが、世間の目。ベビーカーを押して昼間歩いているとそれだけで振り返られたり。めずらしいんでしょうね。この人、こんな昼間から何してるんだろうって。(笑)

Q.これから育児休暇を取得しようという男性へ一言アドバイスはありますか。

家庭の状況やワークライフバランスに対する思いについて、早い段階からオープンにして周囲や職場の理解を得ておくことが大事だと思います。最後は、「決断力」！仕事の代役はいても父親の代役はいません。優先順位を考えて大胆に行動することは、ビジネスにも通じる能力だと思います。

